

三原の空き家カフェに变身

きょう開店 築90年「くつろぎ提供」

三原市本町の古民家「山脇邸」が「カフェ・レストラン よがんす」に改修された。10日、開かれた。11日に開

築約90年の山脇邸は木造2階建てで、呉服屋や金融機関、乾物屋などとして使われた後、長年、空き家と

なっていた。三原商工会議所などが出資した会社「まちづくり三原」が、市中心市街地活性化基本計画の事業の一つとして約4000万円をかけて改修。市内で道の駅を運営する「よがんす白竜」がじややパスタ、創作料理などを販売することになった。

関係者が出席したセレモニーで、よがんす白竜の高東浩昭社長は「安全な地域の食材を使い、40歳前後の女性をターゲットに驚きや喜び、くつろぎを提供したい」と話した。

営業時間は午前11時～午後11時。水曜定休（14、20日は臨時休業）。問い合わせは、「カフェ・レストラン よがんす」（0848・29・6666）。



改修されてカフェレストランに生まれ変わった山脇邸（三原市で）